

童謡「ぞうさん」に込められた思い

童謡「ぞうさん」は、ほとんどの人が聞いたり歌ったりしたことがある曲ではないでしょうか。

この曲を作詞したのは、『まど みちお』さんです。

作詞・・・まど みちお
作曲・・・團 伊玖磨
ぞうさん ぞうさん
おはながながいのね
そうよ かあさんもながいのよ
ぞうさん ぞうさん
だあれがすきなの
あのね かあさんが すきなよ



覚えやすく誰かが知っているフレーズですよね。実は、このぞうさんの歌詞には、まどさんの深い思いが隠されているんです。

【ぞうさんの歌詞の意味】

作詞のまどみちおさんが、ぞうさんの歌詞の意味について、生前こんなことを話されています。

「ぞうの子は、鼻が長いねとからかわれた時、しょげたり腹を立てたりする代わりに『そうだよ。お母さんも長いんだ。そんなお母さんが、僕は大好きなんだ。』と、胸を張って答えます。それは、ぞうがぞうとして生かされていることが、素晴らしいことだと思い、幸せに思いありがたがっているからです。（中略）

もちろん生き物の中の一員として、人間が人間として生かされているのは本当に素晴らしいことです。違うからこそ素晴らしい、仲良くしようということです。」

子象が、鼻が長いと誰かにからかわれたけど、それを何とも思わないどころか、大好きなお母さんと同じなんだ！と喜んで自慢さえしている歌だそうです。

「ありのままでもいいんだよ」という意味と「お母さんが一番大好きなんだよ」という意味があるそうです。それをほんわかとした歌詞にさりげなく入れているのです。

お母さんの方からも（もちろんお父さんも）我が子として生まれてきてくれたお子さんを自慢してほしいと思います。「こんなところは、本当に自分にそっくり！」とお子さんの中に自分探しをしてはどうでしょう。もっともっとお子さんが、いとおしくなるのではないのでしょうか。

小さいお子さんに歌詞の意味を教える必要はありませんが、お母さんやお父さんがまどさんの思いを込めてお子さんに歌ってみてください。この歌の子象のようにお母さん、お父さん大好きのお子さんに育つのではないのでしょうか。

個別相談

まずは、お電話ください。

電話・FAX 0893 (24) 4580

月・火・木・金 午前9時～午後4時

【大洲子育てサポート“そよ風”】

大洲市アフタースクールおおず内（元大洲幼稚園）

大洲市大洲 715

そよ風 HP
こちらから→

